

関係機関	認可外保育施設	家庭保育室連絡協議会
日時	平成 21 年 6 月 2 日（火） 13:00～13:40	平成 21 年 6 月 18 日（木） 18:30～20:00
場所	東庁舎相談室 A	中央公民館分室
出席者	会長 1 名	会長 他 7 名
懇談内容	かわごえ子育てプラン後期計画の策定について	かわごえ子育てプラン後期計画の策定について
主な意見	<p>①認可外保育施設の実態が掴みづらい</p> <p>②認可外保育施設は夜間預かり等の多様なニーズの受け皿になっている。</p> <p>③補助金は欲しいが運営は自由に行いたい経営者がほとんどである。</p> <p>④認可外保育施設に対し行政側が年 1 回でいいから話し合う機会を作り、保育に対して真剣に考えている施設に法人化へ向かわせることも必要。</p> <p>⑤ニーズは保育料が安いかどうか最も大きい。</p> <p>⑥保育料の補助金を保護者側に出すようにしてほしい。</p> <p>⑦川越市は中核市として認可外施設に指針を作成する等、独自の路線も必要ではないか。</p> <p>⑧認可外施設の児童は待機児童としてカウントされているが、指針を作って条件をクリアすれば待機児童としてカウントされなくてすむ。</p>	<p>①少子化対策が進んでないように感じる。川越に来れば安心して子どもを産むことができ、子育てしやすいと感じさせることが大事である。</p> <p>②安上がり保育ではなく公的保育を充実させて欲しい。子どもの発達を保障していく憲法 25 条、児童福祉法 24 条が全然なされていない。保育園への補助金は無くてよいので市の施設を作っていくよりは保育園を通して親に補助金を出すようにしてほしい。</p> <p>③子ども達を受けるからには責任もって有資格者の保育士によってきちんとした保育がしたいが、良い給料でないと保育士も育たない。</p> <p>④働きに出る母親が多くなっている為に今年度は家庭保育室への入所の割合は多くなっている。</p> <p>⑤公立保育園の一時保育についてもっと巾を持たせた預け方ができるようにしてほしい。</p> <p>⑥家庭保育室の保育料が高いというイメージを持つ親が多い。どの子ども同じ保育料負担で保育園に入れるように公立と保育料の階層を同じにすれば待機児童の減少にも繋がる。</p> <p>⑦少子化対策として出産に係る費用を全額負担してほしい。また、子どもの保育教育に関する費用も義務教育が終了するまで全額負担してほしい。</p> <p>⑧どこの地域の人でも無料で親子が利用できる施設を増設してほしい。</p>

関係機関	私立保育園協会	
日時	平成 21 年 6 月 30 日 (火) 13:30~14:30	
場所	第一ホテル	
出席者	会長 他 8 名	
懇談内容	かわごえ子育てプラン後期計画の策定について	
主な意見	<p>①この懇談会のような意見を聞く機会を多くしてほしい。今後 5 年間の時限立法でなく恒久的に子どもの目線に立った行動を続けてほしい。</p> <p>②保育園で家庭の問題に気づいても対処するまでの事ができないので、その辺りを整備して対応できるようにしてほしい。</p> <p>③公立の資源と私立の資源とを共有化していきたい。</p> <p>④待機児童数が多い中、入所できない子どもを一時保育で預かっている為に、本当に一時的に使用したい人が使えない状況にある。</p> <p>⑤家庭に閉じこもった本当に支援すべき人達のことを考える必要がある。</p> <p>⑥問題があった時は支援センター、保健センター、子育て支援課とかでプロジェクトチームを作ってすぐに対応できるようなネットワークが必要である。</p> <p>⑦土曜日保育の拡充について、私立は財源の出所がないので難しい。</p> <p>⑧第三者評価について、私立は公立の 1 / 3 の補助金しか付かない。</p> <p>⑨保育ママ制度を確立する為に、保育ママが都合つかない場合等は保育所を利用するとあるが、制度ができてからこうして下さいと言われても出来かねる。</p> <p>⑩家庭児童相談員が支援センターに来る日を設け、子どもと親にとっても相談しやすい環境を作ってほしい。</p> <p>⑪保護者と子どもそれぞれにとって何が必要なのか事業を作る上でよく検討していただきたい。</p>	<p>⑫年 1 回は発達診断を行っていただきたい。他にも公立で行っているものは私立でも同じ基準で考えてほしい。</p> <p>⑬情報がありすぎて何を参考にしていけばいいのか、相談をどこにすればいいのか戸惑っている親が多い。</p> <p>⑭他市から見て川越市は母親達が気楽に集まれる場所が少ない。</p>

関係機関	保育をよくなる会	
日時	平成21年7月6日(月) 18:30~20:00	
場所	本庁舎7G会議室	
出席者	会長 他8名	
懇談内容	かわごえ子育てプラン後期計画の策定について	
主な意見	<p>①給食について、命の教育として位置づけて改革してほしい。</p> <p>②各園に栄養士を常駐させ離乳食のところから面倒みるようにしてほしい。</p> <p>③給食について現場の調理師や保育士を含めて献立検討会を設けてそこで献立を作る仕組みを作るとよい。</p> <p>④女性の管理職の割合を一定数義務付けるような施策はできないか。雇用する側に女性の目が多ければ多いほど子育てしやすい環境が整っていく。</p> <p>⑤プランに載せる施策について、市が単に普段の業務を載せるだけではなく、もっと踏み込んで企業が子育てしながら働きやすい環境を作れるような施策を考えていく必要がある。</p> <p>⑥市として企業に又は市民に対して独自の支援策として制度を作ることができないか。</p> <p>⑦子育て支援センター等に集まらずに子育てに悩んでいる親達に向けて一時保育の優先枠等を作ったりして保育園との繋がりを作っていくことが必要。</p> <p>⑧ファミリーサポートについて3日以上前からでない申請はできない。突発的な事があった場合に利用することができない。</p> <p>⑨子どもがたくさんいる場合に実質支援になるような、保育園への優先枠、保育料第2子・第3子逡減の拡大、義務教育期間くらいまでの医療費補助、第3子以降の育児手当の大幅拡大などを考えてほしい。</p>	<p>⑩身近にある遊び場を子ども達をもっと自由に知恵と体を思いっきり使って遊べる場所にしてほしい。</p> <p>⑪公民館・児童館がくっついている場所があるとよい。</p> <p>⑫防犯の会のようなものが出来たとしたら、見回りに行くときや、会議で使用する時に優先的に公民館を使用できるような支援をするとうい。</p> <p>⑬「こども110番」というものがあるが、ただ看板を掲げているだけではなく、子ども達の登下校時には、ちょっと外に出て挨拶をするといったようなことをして関係を築いてこそ、いざ何かあった時に飛び込めるものである。</p> <p>⑭子育てプランについて、あいまいな施策がある。</p> <p>⑮あけぼの・ひかり児童園をオープンにして実態を知ってもらう必要があると思う。市の職員は研修等で一回でもいいから視察に行くべきである。専門の訓練士がいるが非常勤であり、もっと訓練したくても、それが出来ない。</p> <p>⑯今すぐにも発達支援センターを大きく作り、親の就労保障をするためにも、そこに保育機能をもたせ、医師・看護師を常駐させてほしい。</p> <p>⑰リベラの就学前の子どもの面接のあり方を考える必要がある。</p>

関係機関	学童保育の会
日時	平成 21 年 7 月 3 日 (金) 18:45～20:00
場所	本庁舎 7 G 会議室
出席者	会長 他 6 名
懇談内容	かわごえ子育てプラン後期計画の策定について
	<p>①学童保育の入室児童は増え続けており特に 1 年生の入室が多くなっている。</p> <p>②埼玉県が策定した「放課後児童クラブ運営基準」では一人当たりの保育スペースを 1.65㎡と定めているが、それに満たない保育室が 20 箇所ある。</p> <p>③学童保育室が過密になっており、子どもの出欠に時間がかかる、子ども達の声が騒音となり些細な事で喧嘩になる、落ち着かないなどさまざまな問題が起きている。</p> <p>④国は子供たちの情緒面及び安全面の確保の観点から 71 名以上の大規模クラブについては分割して適正規模を図るよう促している。そのため 2010 年から 71 名以上のクラブには補助金を廃止することを決めている。</p> <p>⑤入室児童数 40 名を超える保育室は分割して、第 2 学童保育室を設置するように行動計画の中に入れてほしい。</p> <p>⑥子どもを長い目で見てほしいので、辞めていく人の多い臨時職員だけでなく正規の職員を入れてほしい。また、学童保育指導員職としての身分・接遇を確立できるよう行動計画の中で考えて欲しい。</p> <p>⑦多くの時間を教室の外で年の離れた子ども達が一緒に過ごすことは学童保育の特有のものであり、自分の成長を促進していくというこの営みが保育に関して非常に大事であることとして捕らえてほしい。</p>